

JST女子中高生の理系進路選択支援プログラム 理系女子教育シンポジウム

近年、大学の理系志望者が増加傾向にあります。大学や大学院修了後の就職状況などいろいろな要因がありますが、特に現高等学校 2 年生では全国的に文系志望者より理系志望者の方が多くなっています。また、理系を目指す女子も増加しており、東京農工大学では平成 24 年度の志願者に占める女子の割合は農学部 53.3%、工学部 25.1%、全学では 36.5%となり、ここ 10 年間で最も高い値になりました。

本年度、東京農工大学では、科学技術振興機構（JST）の上記支援プログラムに採択され、8 月 7 日・8 日に女子中高生及びその保護者 125 名に参加いただき、「研究室訪問と実験体験プログラム」を実施しました。今回は、中高等学校の教員・大学教員・保護者（中・高等学校の女子学生も参加可能）に参加いただき、理系女子教育に関するシンポジウムを開催することになりました。東京農工大学の女性研究者の養成と、各理科の先生方から中高等学校での理科教育についての報告をいただき、理系女子の教育について討議をしたいと存じます。合わせて、新学習要領での理科教育についても討議したいと思います。ご参加をお待ちしております。

I 日 時 10月20日（土）14：00～17：00

II 場 所 東京農工大学小金井キャンパス（工学部） 中央棟 5 階 大会議室

III 対 象 中高等学校教員・大学教員・保護者 ※中・高等学校の女子学生も参加可能

IV シンポジウム内容

1. 開会 副学長・大学教育センター長 瀬藤 明伯

2. 基調講演

「東京農工大学における女性研究者養成」

東京農工大学生命工学科教授 女性未来育成機構・機構長 宮浦 千里

3. 現状報告

(1) 「女子中・高等学校における理系女子教育」

品川女子学院 教諭 前田 直美

(2) 「新学習指導要領における生物教育と理系女子教育」

東京都立八王子東高等学校 教諭 森下 忠志

(3) 「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）での化学教育と理系女子教育」

埼玉県立川越女子高等学校 教諭 河端 康広

(4) 「物理教育と理系女子教育」

東京学芸大学附属高等学校 教諭 川角 博

4. 討議

5. 閉会

申込みは、<http://www.tuat.ac.jp/facility/epc/index.html>をご覧ください。

当日参加も可能です。